くすのき

第87号
発行：八幡市教育委員会　令和8年(2026年)11月20日
URL http://www.city.yawata.kyoto.jp/

お　も　な　記　事

◆八幡浜市との中学生交流　1・2面
◆これからの八幡の学校を考える −その3−　3・4面
◆八幡市文化賞・スポーツ賞表彰　5面
◆教育支援センターについて　5面
◆寄贈について　5面
◆市民図書館の新たな取り組み　6面

八幡浜市の中学生と交流しました！

令和8年8月18日(火)から20日(木)までの3日間、愛媛県八幡浜市の中学生20人が本市を訪問し、本市の中学生20人と交流しました。

八幡浜市は飛行機の発明者として知られる二宮忠八翁の生誕地であり、八幡市は忠八翁が晩年を過ごした場所です。また、両市の地名が「八幡（やわた）」という漢字も読み方も一致していることから、非常に深い縁があります。この縁をきっかけに、平成25年度から両市の中学生交流事業がスタートし、昨年8月19日には友好都市協定を締結しました。今後は市民全体の交流を目指し、さらに幅広い分野での連携が期待されています。

この交流事業は、子どもたちが他の地域の歴史・文化・自然などにふれ、自分たちのふるさとの良さを改めて発見することを目的としています。交流を通じて、豊かな心や思いやりの気持ちを育てることも目指しています。

交流初日は、本市市役所のエントランスで八幡浜市の一行を出迎えました。庁舎内で歓迎式典を行い、両市の中学生がそれぞれプレゼンテーションを通じて自分の市の魅力を紹介しました。

その後、班ごとに竹つぎリレーを行い、中学生同士の仲





を深めました。また、両市の交流事業を表すイメージキャラクターをみんなで考え、各班が自分たちの案をまとめ、代表者がキャラクターの説明を行った後、投票を実施しました。





その後はスマート農業を取り入れている市内の農家さんのもとで、ドローンを使った農業の様子を見学させていただきました。流れ橋の散策を楽しんだ後は、夕食会場の四季彩館に移動し、抹茶ソフトクリームを食べながらイメージキャラクターの投票結果を発表しました。どの班の作品も個性あふれる素晴らしいものでした。



投票結果発表後は、バーベキューを楽しみながら夕食交流を行い、さらに絆を深めました。

2日目は、朝から神應寺を訪れ、交流事業のきっかけとなった二宮忠八翁のお墓に手を合わせました。その後、忠八翁が創建した飛行神社を訪問し、宮司から忠八翁の功績について丁寧に説明を受け、資料館を見学しました。今年は忠八翁の没後90年という節目にあたり、遠く離れた地域をつなぐきっかけを与えてくれた忠八翁への感謝の気持ちが改めて湧きました。

飛行神社の見学を終えた後は、男山中学校へ移動し、石清水八幡宮の門前名物「走井餅」の手作り体験を行いました。走井餅老舗11代目の井口香苗さんから歴史を学び、実際に餅を手に取り餡を包む体験をしました。走井餅づくりと並行して、本市の給食調理員が松花堂弁当を準備してくれており、完成した走井餅を弁当に加えて昼食を楽しみました。昼食中も話が盛り上がり、班ごとの交流がさらに深まりました。



昼食後はケーブルカーに乗り、国宝である石清水八幡宮を参拝しました。御本殿を彩る数々の彫刻や黄金の樋などを見学し、本市の歴史について学びました。



ケーブルカーで下山後は、松花堂庭園を訪れ、茶農家を営んでおられる市民の方からお茶について学びました。お話を伺いながら、水出しの紅茶とお菓子をいただき、ゆったりした時間を過ごしました。

交流最終日となる3日目は、市役所庁舎前で集合写真を撮影した後、庁舎内で歓送式典を行いました。生徒同士がお土産を交換し、感謝の気持ちを伝え合いました。

式典後は最後の交流事業として物産展を実施し、両市の中学生たちが特産品をPRして購入し合い、楽しい時間を過ごしました。物産展終了後、市役所エントランスで八幡浜市の一行を見送りました。3日間という短い時間でしたが、笑顔でお別れをし、再会を楽しみにする声が多く聞かれました。

来年度は本市の中学生が八幡浜市を訪問する予定です。今回の交流で芽生えた絆をさらに深めながら、両市の友好関係を築いていきます。

（学校教育課）

これからの八幡の学校を考える　その3

八幡市においても、少子化が進んでいます。また、学校施設の老朽化や教育環境の充実等の課題への対応も必要です。これからの学校を考えていくために、今回は、学校に関する費用についてお伝えします。

学校運営にかかる費用

※費用については令和８年度当初予算

学校運営に必要な費用については、教職員の人件費や光熱水費、教材備品費、消耗品費など多岐にわたります。八幡市では、子ども達のために学習支援員や特別支援教育支援員、不登校の児童生徒のための講師や支援員、栄養士やICT支援員、ALT（英語指導助手）等、学校に独自に配置し、子ども達へのきめ細かな指導支援を行っています。また、小学校の水泳指導の民間委託や中学校の文化発表会の文化センターでの実施など、学習環境の充実に力を入れています。

府費負担の教職員の人件費や就学援助費などを除いて、『学校管理費（光熱水費や消耗品費、機器借上や備品購入費など）』、『教育振興費（学習教材備品等教育活動に係る費用）』、『給食調理のための費用』等を合わせますと、年間で小学校約８億3,300万円、中学校約３億1,400万円で、１校当たりにすると、小学校約1億400万円、中学校約7,900万円となります。

※学校の教職員の給与等は、法律に基づいて、京都府が負担されています。

学校施設の維持管理にかかる経常費用

※費用については年度でばらつきがあるため、令和３～７年度決算の5ヵ年平均

子ども達の教育活動に関わらず、本市の学校を維持管理するためにも、費用はかかってきます。電気設備や空調設備、樹木の管理など様々な保守（維持管理）に係る年間費用は、小学校約2,900万円、中学校約1,200万円で、１校当たりにすると、小学校約370万円、中学校約310万円です。

また、学校施設の適切な維持管理に向けた整備を計画的に行ってきたところではありますが、学校施設の老朽化は依然として進行しており、それに伴う年間修繕費用等は、小学校約1,700万円、中学校約1,000万円で、１校当たりにすると、小学校約210万円、中学校約260万円の費用が必要となっています。

学校施設の大規模整備に係る費用（～令和7年度）

本市においては、学校施設の適切な維持管理・教育環境の充実に向け、八幡市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的にトイレや給食室の改修、体育館への空調設備の整備等、児童生徒のために環境改善を行ってきました。（令和3～7年度決算の５ヵ年平均で、１年当たり約4億2,000万円）

例えば近年では以下のような改修や設備の整備を行っています。

実施年数	内　　容	費　　用	学　　校　　名
R7	給食室改修	2億2,000万円	さくら小学校
R7	トイレ改修	1億5,200万円	中央小学校
R7	運動場改修	8,000万円	男山第二中学校
R7	エレベーター設置	1億7,600万円	男山東中学校
R6	体育館エアコン設置	1億5,100万円	八幡小学校・有都小学校
R6	武道場長寿命化改修	1億3,100万円	男山第二中学校
R5	給食室改修	1億6,700万円	八幡小学校
R5	トイレ改修	1億5,300万円	さくら小学校
R5	体育館エアコン設置	1億9,200万円	中央小学校・美濃山小学校
R5	体育館長寿命化改修	2億1,300万円	男山第二中学校

今後の学校施設の大規模整備に係る費用（令和８年度～）

本市の学校施設の多くは昭和40年～50年代に建設されており、同時期に建替等の時期が到来します。

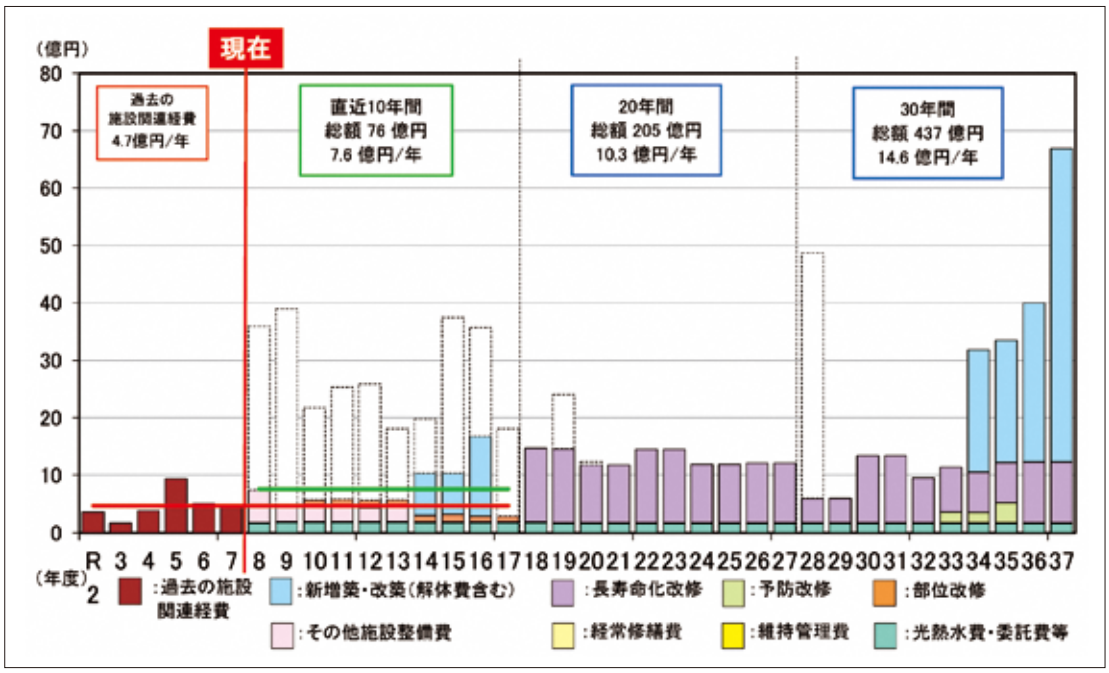
しかしながら、全国共通の課題とはなりますが、一度に建替等を行っていくためには、非常に多額の費用が必要になり、現実的には困難な状況です。

長寿命化改修や計画的な維持修繕を行い、施設をできるだけ長い期間有効利用する必要があるため、本市では、令和3年3月に策定した「八幡市学校施設長寿命化計画」（令和8年6月に改訂）に基づき、計画的な整備に努めているところです。

ただし、直近10年間は、改修等の優先順位づけ及び財政状況を考慮し、コストを抑制していることから、長寿命化の効果については、今後の適正規模・適正配置の議論を踏まえ評価する必要があります。また、直近10年間の施設関連経費の年平均額は7.6億円となり、過去の施設関連経費の年平均額4.7億円と比較して、まだ年間約2.9億円が不足しており、財源確保等の対策が必要な状況です。

そして、耐用年数が到来した学校施設については、建物の健全度等も加味しつつ、そのものの建替等も今後検討していく必要があります。

図表：今後の維持・管理コスト（長寿命化型）　　出典：八幡市学校施設長寿命化計画（ R8.6 改訂）



他市の学校施設再編の取組について

ここ数年、近隣の市では、児童生徒数の減少を受け、学校を統合して、教育環境を充実させた新たな校舎を建築するケースもあります。例えば宇治市では、3小学校と1中学校を統合して、宇治西小倉学園として開校されました。

新たな校舎を建築するとなるとその再編の規模等にもよりますが、資材などの高騰もあり、100億円近くになる場合もあります。



あとがき

「これからの八幡の学校を考える」と題して、第85号で児童生徒数や適正規模についての考え方、第86号で学校種や学校の制度、大規模校小規模校のメリット・デメリット、そして、今回の学校に関する費用と３回にわたり、お伝えしてまいりました。

教育委員会としては、今後も、児童生徒や保護者、地域の方々と情報を共有し、学校教育に対する理解を得て、地域の実情や将来の人口動向を踏まえて、子ども達のよりよい教育環境を考えていくことが大切であると考えています。

（こども未来課）

八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和8年11月3日（火・祝）八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では、16人4団体の児童生徒が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。

（敬称略・順不同）

【文化賞・個人】
▽萬田　帆海（くすのき小・読書）
▽藤原　花梨（男山中・書道）
▽金川　颯佑（男山中・絵画）
▽倉矢　風花（男山第二中・絵画）
▽山田　悠喜（京都聖母学院中・クラシックバレエ）

【スポーツ賞・個人】
▽山本　瑛心（南山小・レスリング）
▽内藤　翔太（中央小・柔道）
▽竹内　遥希（中央小・柔道）
▽河端　日琴（南山小・空手）
▽河端　柚希（南山小・空手）
▽松本　澪（さくら小・剣道）
▽新屋　もも（大阪国際中・バレーボール）
▽藤原　愛良（久御山中・剣道）
▽猪原　大地（男山第三中・水泳）
▽安田　蒼士郎（男山中・陸上）
▽尾亀　奨真（東海大付属大阪仰星高等学校中等部・ラグビー）

【スポーツ賞・団体】
▽八幡柔道クラブ（柔道）
▽京都和心剣友会女子団体（剣道）
▽男山第三中学校陸上競技部男子（陸上）
▽男山第三中学校陸上競技部女子（陸上）

（生涯学習課）








教育支援センター

所在地　八幡市男山笹谷2
電話　075（982）3001

教育に関する相談

対　象　市内在住の幼児・小・中学生とその保護者
対 応 者　指導主事・カウンセラー
相談内容　友達とうまく関われない・情緒が安定しない
学校（園）に行けない、行きにくい
学習に気が向かない
気になる言動がある・子育てに迷っている
その他お子様に関わること

不登校支援（教育支援教室「さつき」・訪問支援）

対　象　市内在住の小中学生
対 応 者　教育相談員・支援指導員・カウンセラー
相談内容　一人ひとりの興味、関心に応じた活動
状況に応じた学習・登校支援など
そ の 他　教育相談員やカウンセラーが、個々に応じた支援について保護者の方と一緒に考えます。

教育相談・不登校支援開始までの流れ

①お電話でお申し込みください。
↓
②教育相談、教育支援教室「さつき」担当者がお会いします。
↓
③教育相談開始
↓
③教育支援教室「さつき」見学・体験
↓
④支援開始

※開所時間は平日　九時～十七時までです。
※学校連絡アプリにて配信いたしましたパンフレットもご参照ください。

寄贈

○八幡市老人クラブ連合会さまから市内幼稚園・認定こども園・保育園に書籍（各10冊）
○Ｄａｉｇａｓグループさまから市内公立こども園に絵本（16冊）
○Ｄａｉｇａｓグループさまから有都小学校放課後児童クラブに児童書（15冊）

（こども未来課）

市民図書館の新たな取り組み



０歳からのおはなし会

今年度から“図書館で絵本デビューしませんか”と題して、赤ちゃんと親御さんが一緒に楽しめる０歳からのおはなし会をはじめました。（八幡は第１土曜日、男山は第1水曜日、両館ともに午前11時開催）

乳幼児期からの語りかけや絵本の読み聞かせが、豊かな語彙力や想像力の土台を築く上で極めて重要であるといわれています。

しかし、初めての子育てに奮闘する保護者の中には、「赤ちゃんとどう接したらいいかわからない」「絵本を読んでも反応がないので不安」と悩む方も少なくありません。

そこで、ただ本を読み聞かせるだけでなく、感覚を刺激する手あそびやわらべ歌で、スキンシップをとりながら絆を育むプログラムを実施しています。



これらはすべて、ご家庭に帰ってからも日常のコミュニケーションとしてすぐに活用していただける工夫を凝らしています。

赤ちゃんと親御さんが心を通わせる温かな時間を毎月提供することで、地域全体で子育てを温かく見守る環境作りの一助になれれば――そんな願いをこの事業に込めました。

また、市民図書館では、絵本の選び方や読み聞かせ方の相談にも児童担当の司書がやさしくお答えいたしますので、気軽にお声がけください。

絵本コーナー支援セット

公立保育園や幼稚園、こども園向けに「絵本コーナー支援セット」事業をスタートさせました。子どもたちの読書習慣の形成において、乳幼児期に多様なジャンルの本に触れることは、その後の知的好奇心の源となります。

しかし、園単体で季節に合わせた絵本や、トレンドの絵本を常に揃え続けるのは容易ではありません。

そこで、子どもたちのリアルな興味関心事や、豊かな季節の移り変わりにちなんだ図書を司書が選び、毎月セットにしてお届けする仕組みを作りました。



様々な絵本が毎月届くことで、園の絵本棚は常に新鮮で魅力的な空間に生まれ変わります。

先生方の負担を軽減しつつ、子どもたちが日常的に素晴らしい物語と出会える環境を支援してまいります。

八幡市民図書館に自習席を設置



子どもたちをはじめ、市民の皆様が図書館という本に囲まれた静かな環境で自学自習できる場を提供することで学びの機運を高めるとともに、若い世代の図書館利用を促進するために、八幡市民図書館２階参考室に新たに自習席10席を設置し、夏休み中の8月4日に利用を開始いたしました。

自習席では、図書館資料の閲覧だけでなく、持ち込み自習にも利用していただけます。

隣席との間をパーテーションで区切り、1席ごとにLED照明とコンセントを設置しており、パソコンやタブレットの持ち込みも可能ですので、宿題や課題、試験・資格の勉強等、様々な使い方をしていただけます。

勉強に疲れたら、ちょっとブレイクタイム！本棚にはいろいろな本がいっぱい。お好きな１冊をみつけてください。

※図書館の利用券をお持ちの方であればどなたでも利用いただけます。

市民図書館はこれからも、市民の暮らしに寄り添える場所になるよう努めてまいります。

ぜひ足をお運びください。